

国民文化祭開幕 楽しもう! 飛騨市の伝統・文化



国民文化祭に向けて市民の皆さんと作成した巨大あんどん(ちーオシスタチュー)

国内最大の文化の祭典 国民文化祭

国民文化祭とは、伝統芸能や音楽、美術などさまざまな文化活動を全国規模で発表・共演・交流する国内最大の文化の祭典であり、さらなる文化芸術の振興を図り、新しい価値の創造や次世代への継承を目指すものです。

平成29年度からは「全国障害者芸術・文化祭」と合わせ、各都道府県の持ち回りで開催されています。

令和6年度は、25年ぶり2回目の岐阜県開催となり、「清流の国ぎふ」文化祭2024の名の元に、「第39回国民文化祭」と「第24回全国障害者芸術・文化祭」を開催します。

「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」をテーマに、10月14日～11月24日の42日間にわたり、岐阜県各地で文化活動の発表や交流活動が行われます。その他にも市町村それぞれの特色をアピールする「清流文化地域推し活動」(愛称『ちーオシ』)を県民運動として進めてきました。



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

創意工夫で展開してきた 飛騨市の伝統・文化

飛騨市では、歌舞伎や能、雅楽、民謡・民踊、詩吟、華道、茶道などの伝統文化、写真や絵画、陶芸、工芸、吹奏楽をはじめとする音楽といった幅広い文化活動が盛んに行われてきました。このように熱心に文化を育んできた結果、全国へ羽ばたく人材も生まれました。

しかし、各会員の減少や高齢化が進み、活動を縮小せざるを得ない団体が生じてきていることも事実です。

そうした課題をふまえ、伝統・文化の灯を後世に伝えたいと、新たな取り組みも始まっています。子どもたちが主役となり、さまざまな団体が交流を図りながら活動が続け、将来的に飛騨市の文化をけん引する人材を育む「飛騨市文化協会 文化少年部」の設立は、全国的にも珍しい取り組みとして注目されています。

そんな中、市内の伝統芸能や文化活動にスポットを当て、幅広い団体が一堂に会し、活動の成果を披露して交流を図り、取り組みを次世代へつなぐ、文化芸術の振興を図ろうと10月27日、飛騨市文化交流センターを会場に「飛騨市伝統文化オータムフェスティバル」を開催します。

これは今年、岐阜県を会場に開かれる「国民文化祭『清流の国ぎふ』文化祭2024」を受け、飛騨市独自で実施するイベントです。

飛騨市伝統文化オータムフェスティバル

- 日時 10月27日(日) 9:20 ~ 15:30
- 場所 飛騨市文化交流センター
- 料金 入場無料・入退場自由
- 主催 「清流の国ぎふ」文化祭2024飛騨市実行委員会

【ステージプログラム】スピリットガーデンホール

- 9:20 ~ 開会セレモニー
神岡江戸木遣保存会 木遣披露
- 9:50 ~ 藤橋会「薪能」披露
- 10:35 ~ 文化協会文化少年部交流発表会
和太鼓 増島保育園、飛騨古川四神太鼓ジュニア
民謡 神岡民謡保存会ジュニア
民踊 すみれクラブ、若葉会、けさみん子供クラブ、チャメツ子会
詩吟 岳風会スマイル教室
吹奏楽 双葉プラスバンド(映像出演)
- 12:05 ~ 古川中学校合唱部 合唱披露
- 13:10 ~ 飛騨かわい地歌舞伎公演
「釣女」「白波五人男」
- 14:40 ~ 古川中学校・神岡中学校吹奏楽部演奏
- 15:00 ~ 閉会式 団子・お菓子まき

【展示・ワークショップ・バザーなど】

- ・昔の遊びを伝えよう伝承遊びフェスティバル ホワイエ
- ・呈茶、コマ体験 ホワイエ
- ・古川町商工会&神岡商工会議所によるバザー 広場
- ・古川中学校美術部作品展 ロビー

※内容は変更する場合があります

※その他にもスポレク祭等の同時開催も計画しています



「清流の国ぎふ」文化祭 2024
飛騨市実行委員会 副委員長
飛騨市文化協会 会長

こえだ けんいち
小枝 憲一 さん

■どのような催しですか？

能や歌舞伎、木遣りといった昔からある伝統文化と吹奏楽や合唱など新しい文化がコラボして、市内のさまざまな伝統・文化を体験できる貴重な催しです。また、文化協会文化少年部をはじめ子どもたちの演目披露も多く、市の伝統・文化を担う市内の老若男女が一堂に会して発表できる機会でもあり、これまでになかった試み。市制20周年にして最大の文化イベントで、飛騨市がやっと20歳になり、大人の仲間入りをするきっかけとなるものだと考えています。

■イベントを通じて期待することは？

会員の減少や高齢化といった課題がありますので、この機会に若い人や子どもたちにも市内のさまざまな文化活動にふれてもらい、大人と共演することで自信につなげたり、新たな興味や誇りを持ってもらいたいです。違う文化同士が交流することで生まれる活動の活性化にも期待したいです。

■市民の皆さんへ。

昔から伝わる文化と新しい文化が融合したフェスティバルです。1日かけて幅広い文化を楽しんでいただけます。ぜひお越しください。



神岡江戸木遣



古川中学校合唱部



文化協会文化少年部



古川中・神岡中吹奏楽部

障がい者アート展

「第39回国民文化祭」と同時開催される「第24回全国障害者芸術・文化祭」への参画事業として、同じく10月14日～11月24日の日程で行われます。

飛騨市図書館・展示の森で、障がいのある方の生き生きとした暮らしを撮影した写真の展示などを行います。





飛騨能「藤橋」実行委員長

さわだ ただひさ
澤田 忠久 さん

■どのような活動をされていますか？

飛騨能「藤橋」は、地元に伝わってきた謡曲を、能楽師で人間国宝の故・野村四郎氏が能に仕立てた作品です。観世流能楽師の武田文志氏から指導を受けながら練習し、地元の皆さんと協力して上演しています。地元を舞台にしたオリジナル作品を、演者も囃方も謡も全て素人が担って上演するもので、こうした活動は全国的にも珍しいと思います。

■今回の演目の見どころは？

今回は半能として25分ほどになり、本来の見どころとなる語りを省いているのですが、シテの舞いの他、謡の中に郷土の地名が出てきますので、そうしたところが見どころになると思います。

■今後に向けた抱負

ここにしかない独自の能で、地域の宝ですので、なんとか絶やさず続けていきたいです。部活動の地域移行が進んでいるので、子どもたちにもぜひ学んでもらいたいですし、若い人にも魅力をアピールして参加していただけたら。



参加団体の代表者お二人にうかがいました



飛騨市河合町歌舞伎保存会 会長

おおした てつや
大下 哲矢 さん

■どのような活動をされていますか？

20人前後のメンバーを中心に、多くの方の協力を得て定期公演を行っています。他団体は特定の指導者がいることが多いのですが、私たちは美濃歌舞伎保存会の方々に教えてもらい、自分たちで試行錯誤しています。先輩方が抜けて勉強不足は否めませんが、堅苦しくなく自由に楽しく活動しています。

■今回の演目の見どころは？

「白波五人男」では、5人の衣装がそれぞれ個性を表しているののでじっくり見てもらえたら。「釣女」はコミカルで楽しい話です。河合小や古川中の子も主役級を演じてくれるので、そこも見どころです。

■今後に向けた抱負

毎回来てくださる年配の皆さんに次の定期公演も楽しみにして、健康で元気に日々を過ごしていただけたら。皆さんに楽しんでいただける演技を目指し、地歌舞伎の伝統を次世代へつなげたい。令和8年の飛騨・美濃歌舞伎大会の飛騨市開催に向けて頑張っています。



■今秋の文化イベント

飛騨市伝統文化オータムフェスティバル以外にも、さまざまな文化イベントが開催されます。それぞれ違った魅力、楽しみ方がありますので、ぜひご鑑賞ください。

日にち	イベント名	場所
9月29日	第19回古川中学校合唱部定期演奏会	飛騨市文化交流センター
10月6日	第17回飛騨市民音楽祭	飛騨市文化交流センター
10月14日	第1回飛騨ジュニアウインドオーケストラ定期演奏会	飛騨市文化交流センター
10月19日～20日	神岡町文化祭作品展	神岡町公民館
10月20日	神岡町芸能祭	神岡町公民館
10月25日	飛騨市小中学校音楽祭	飛騨市文化交流センター
11月2日	第23回飛騨河合音楽コンクール受賞記念リサイタル	飛騨市文化交流センター・船津座
11月2日～3日	第63回古川町文化祭「生涯学習展」「文化展」	ハートピア古川・古川町公民館
11月3日	第63回古川町文化祭「芸能公演」	飛騨市文化交流センター
11月9日	飛騨かわい いなかーにばる2024	河合小学校体育館
11月9日～10日	宮川町文化祭2024(文化展、芸能公演)	宮川小学校体育館

市民が生涯にわたり、生きがいをもって心豊かに暮らせるまちには、伝統芸能をはじめさまざまな文化活動が不可欠です。今回の催しを機会に、伝統・文化を見て、楽しんで、地域を盛り上げていきましょう。

問 文化振興課 ☎ 0577-73-7496